



株式会社

ドン・キホーテ  
Don Quijote Co.,Ltd.

ひと目でわかる

## 2011年6月期 本決算

## お客さま層の拡大で21期連続増収増益

お客さまを獲得したことで、当期も堅実な成長を継続することができ、1989年の事業開始以来、21通期連続の増収・営業増益を達成しました。

当期は、東日本大震災の発生による大混乱があったものの、「顧客最優先主義」の企業原理に基づき、迅速で柔軟な変化対応力や従前から培ってきた商品調達力を遺憾なく発揮。地域になくはならない店舗として、女性を中心とする新規の

## 売上高

5,077  
億円

固定客支持率が安定しているなかで、日用雑貨品を中心に季節商品、ライフスタイル型商品及びプライベートブランド商品などの販売促進策を進めた結果、女性客を中心に客層拡大が顕著になったことから、売上高は5,077億円(前期比4.1%増)となりました。

## 営業利益

253  
億円

消費環境が目まぐるしく変わったものの、変化対応力を持って堅実な販売高を維持するとともに、当社が実践する「コストコントロールマネジメント」力がグループ全体で進化したことで、営業利益は253億円(同20.3%増)となりました。

## 経常利益

251  
億円

営業外損益収支戻は2億円のマイナスとなったものの、営業増益効果で、経常利益は251億円(同19.1%増)となりました。

## 当期純利益

127  
億円

資産除去債務や減損損失など一過性の損失を吸収した上で、四半期純利益は127億円(同23.7%増)と過去最高益で着地しました。

## 総資産

3,413  
億円

株式会社フィデック(東証一部:8423)の連結に伴う買取債権の発生、販売好調及び業態転換に伴う商品在庫高の増加、並びに出店に伴う有形固定資産の増加などから、総資産は3,413億円(前期末比393億円増)となりました。

## 純資産

1,252  
億円

転換社債の株式転換及び利益剰余金の積み増しにより、純資産は1,252億円(同185億円増)となりました。なお、自己資本比率は36.2%となりました。

## EPS

167.82  
円

1株当たり当期純利益(EPS)は、過去最高益を更新したことから、167.82円(同20.47円増、13.9%増)となりました。

## ROE

11.1  
%

自己資本当期純利益率(ROE)は11.1%となりました。

## お買上客数

2億1,820  
万人

当社グループ各店舗をご利用いただきましたお客さま(レジ通過客数)は、2億1,820万人(同779万人増)となりました。

## 店舗数

228  
店

新規出店はドン・キホーテ7店、MEGA3店、ドイト4店など15店を実施。グループ全体の店舗数は国内38都道府県225店舗、米国ハワイ州の3店舗を含めると228店舗となりました。

## 売場面積

637,867  
m<sup>2</sup>

2011年6月末時点の売場面積は、当期中における新規出店などにより、2010年6月末と比較して35,142m<sup>2</sup>増加し、637,867m<sup>2</sup>(5.8%増)となりました。

## 年間配当金

28  
円

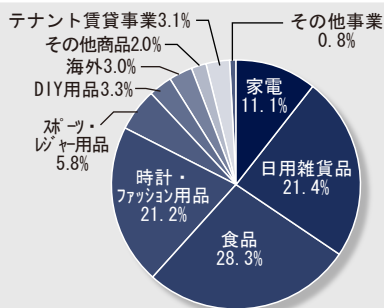
中間配当を含めた年間配当金は、1株当たり28円と8期連続の増配を実施しております。なお、配当金総額については、上場以来、14期連続の増額を継続しています。

## 商品点数

12億2,644  
万点

当社グループが当期間にお客さまの手許にお届けした商品点数は、12億2,644万点(国内のみ)となりました。

## 商品分類別売上高構成比



## 株主数

4,542  
名

株主数は前期末に比べて572名減少し、4,542名となりましたが、外国人株主の保有比率は過半数を超えて51.5%となりました。

## 株主分類別持株数構成比

